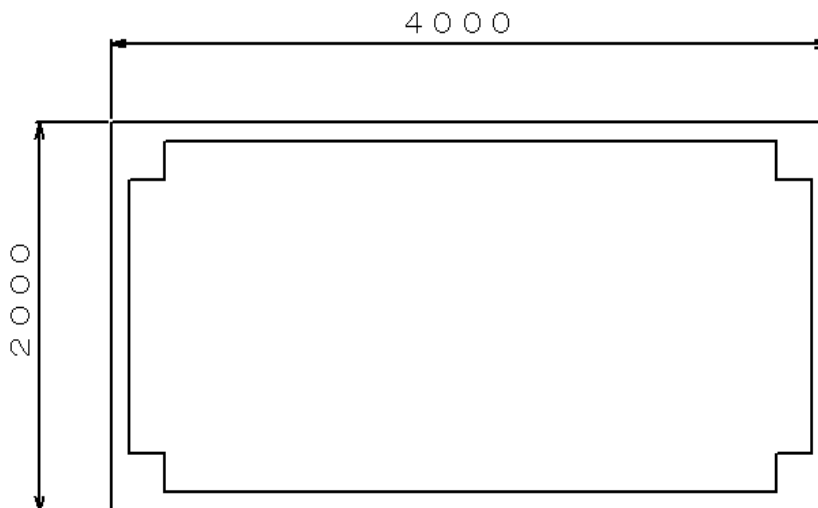


演習問題 2 完成図



作成した図面をBMP画像に保存します。

演習問題 3」では次の手順を進めていきます。

- Step 1 サブメニューコマンドの説明
- Step 2 作成した図面をBMP画像に保存する

Step 1 サブメニューコマンドの説明

[BMPサイズ(ドット) =640,480]

保存後、BMP画像になった時の大きさを設定します。

[保存幅(mm) =2000]

保存する際、画面上の外枠の大きさを設定します。

(ここで設定するのは「横幅」のみで、「高さ」は [BMPサイズ] で設定した縦横幅の数値の比率に対して表示されます。)

例 :BMPサイズ「640,480」保存幅「2000」の場合

$2000 : X = 640 : 480$ $640 X = 960000$ $X = 1500$ よって、縦幅は「1500」で表示される。

(また、保存幅の枠の大きさ(mm)は基本縮尺に従います。)

例 :基本縮尺「1/100」、書き込みグループ「1/50」の場合

「1/50」縮尺の書き込みグループで横幅「300」(mm)の図形をかき、それをBMPに保存しようとする、基本縮尺が「1/100」なので、保存幅は倍の「600」(mm)を入力する。

[前の値]

1つ前に設定した数値 (BMPサイズ・保存幅の値) を再び呼び出します。

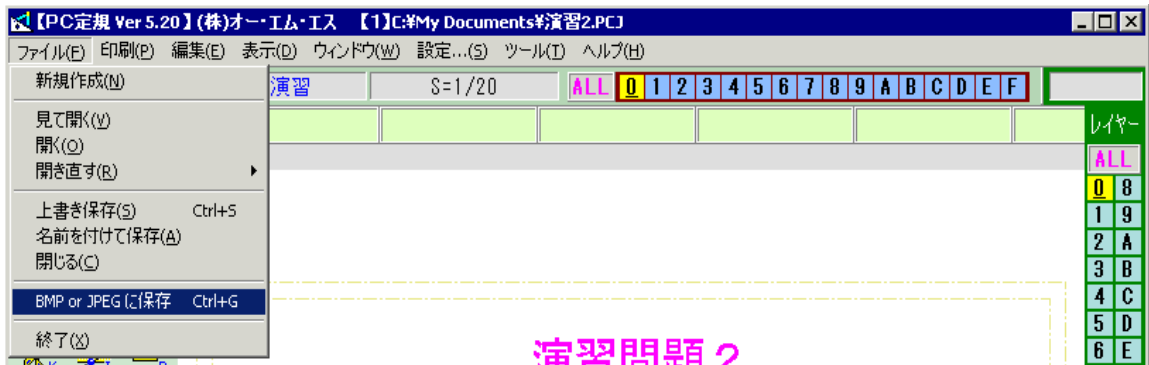
[広め/狭め/標準]

保存する際、保存幅からの余白部分を指定します。

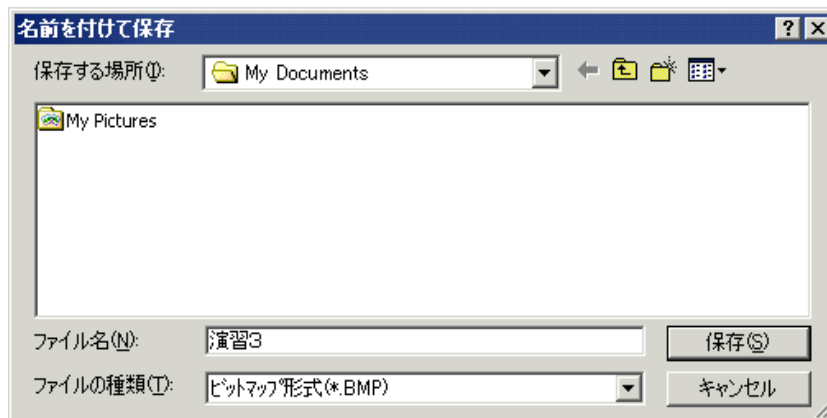


Step 2 作成した図面をBMP画像に保存する

- (1) PC定規を立ち上げる。
- (2) **演習問題 2 Step 6**」で保存したファイルを開き、図面を表示させる。
(ここでは、「演習 2」のファイル名で残っています。)
- (3) 画面上部のメニューバー『ファイル (F)』をクリックし、[BMP or JPEGに保存]をクリックする。



- (4) サブメニュー [保存幅 (mm)=2000]をクリックし、 を入力後、Enterキーを押して確定する。
- (5) 画面上に設定した大きさの赤枠が表示されるので、図面が枠内に入るように指定し、クリックする。(枠内に図面が収まらない場合は保存幅を少し大きめに調整し直して下さい。)
- (6) 「名前を付けて保存」画面が表示されるので [ファイル名 (N)] に適当な名前を入力し、(「演習 3」など) [保存 (S)] ボタンをクリックする。



- (7) 画面が一瞬青く光り、元の画面に戻る。
これで、図面が BMP 画像に保存される。

- (8) [N. ニュートラル] アイコンをクリックし、現在のコマンドから抜ける。

(JPEGで保存する場合は(6)の「名前を付けて保存」画面で [ファイルの種類 (T)] のドロップダウンリスト(ボタン)をクリックし、「JPEG形式 (*.JPG)」を選んで下さい。)